

南会津地域感染症通信 7月号

調査対象期間：2021年第24週～2021年第28週（6/19～7/16）

令和3年7月
福島県南会津保健所
電話 0241-63-0306



不安定なお天気が続いていますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。県内では7月に入り接待を伴う飲食店に関連したクラスターが複数件発生しています。感染予防行動をとりながら、天気の良い日は外に出て散歩をするなど適宜、運動をしてリフレッシュしましょう。

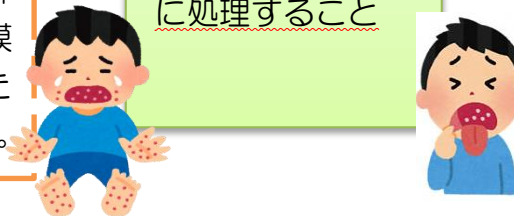
〈今月のトピックス①〉夏に流行する感染症その2～手足口病・ヘルパンギーナについて～

【手足口病とは】

乳幼児を中心に、口の中や手足などに2～3mmの水疱性発疹が出現します。感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染であり、感染後3～5日後に症状が発症します。高熱が続くようなことはなくほとんどの場合数日間で治ります。しかし、回復後も長期間便からウイルスが排泄されることもあり、また、まれに髄膜炎などの合併症をおこす場合もあるため、経過をよく観察することが必要です。

* 予防対策 *

1. 流水と石けんによる手洗いをしっかり行うこと
2. 排泄物を適切に処理すること



【ヘルパンギーナとは】

乳幼児を中心に、38～40℃の発熱が1～3日続き、同時にのどが痛み口の中に小さな水疱がたくさんできます。この時、飲食を受け付けずに「脱水症」になることもあります。感染経路は飛沫感染と接触感染であり、症状回復後も2～4週間はウイルスが患者の便中に排出されるので注意が必要です。そして、ウイルス型がいくつもあるため、**何度もかかってしまうことも珍しくありません。**

〈今月のトピックス②〉肝臓週間について～7月28日は「世界肝炎デー」です～

◇ ウイルス性肝炎とは

肝炎ウイルスに感染して、肝臓の細胞が壊れていく病気です。国内最大級の感染症と言われ、日本人の約100人に1人が感染していると推計されています。肝臓は沈黙の臓器と言われ、肝炎ウイルスに感染してもほとんどの場合自覚症状がなく、気づいた時には**肝硬変やがんなど命に関わる病気**になっています。

『肝炎を早期に発見し、早期に治療すれば重い病気になるのを防ぐことができます。ご自身の他に家族や周りの方々にも肝炎ウイルス検査の受診をすすめてください。』

◇ 肝炎ウイルス検査について

肝炎ウイルス検査は**県保健所**や**指定の医療機関**で行っています。

◇ 肝疾患でお悩みの方はこちらの窓口へご相談ください

福島県肝疾患相談センター（福島県立医科大学附属病院）

電話：024-547-1414

相談受付 月曜日・水曜日 午後2時～5時

相談方法 電話又は面談（面談は事前要予約）

〈南会津保健所での肝炎ウイルス検査について〉

当所では下記の日程で検査を実施しています。

日時 毎週火曜日 9:00～10:30

第一・第三月曜日 17:15～20:00

場所 南会津保健所

費用 無料

※予約制となりますので、事前にお電話ください。

0241-63-0306



熱中症×コロナ感染予防のポイント

これからの時期は梅雨が明け、暑い季節となってきます。マスク着用が辛いと感じてしまう方も多いのではないのでしょうか。しかし、変異株への置き換わりが進み、これから東京オリンピック・パラリンピック等も控えていることから、予断を許さない状況であることには変わりません。引き続き、感染拡大防止のため基本対策に取り組んでいきましょう。

新型コロナウイルス感染症対策として、（1）身体的距離の確保（2）マスクの着用（3）手洗いや「3つの密（密閉、密集、密接）」を避ける等の対策を取っていただいているかと思いますが、**夏の時期は熱中症にも気をつけましょう。**

- 気温や湿度の高い環境下でのマスク着用は要注意
- のどが渇いていなくてもこまめに水分補給を行う
- 屋外で人と十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合にはマスクをはずす
- マスクを着用しているときは身体に負荷のかかる作業や運動を避ける
- エアコン使用中もこまめに換気をする

